



朴大統領の弾劾可決

弾劾訴追案 採決結果	
賛成	反対
234	56

【ソウル共同】韓国国会は9日、野党3党が提出した朴槿恵大統領の弾劾訴追案を可決した。朴氏は職務停止となり、黄教安首相が権限を代行。憲法裁判所が180日以内に罷免するか否かを判断する。

朴氏の親友、崔順実被告による国政介入疑惑は大統領不在という異例の事態に



韓国の朴槿恵大統領
(聯合-共同)

職務停止、首相が代行

韓国 憲法裁判所が罷免判断へ

発展。国政混乱は長期化し、内政や外交が停滞するのは必至だ。罷免となれば60日以内に大統領選が行われる。

賛成234票、反対56票だった。韓国大統領の弾劾可決は2004年の盧武鉉大統領に続き2例目。憲法裁判所は約2カ月後に棄却決定を出した。

朴氏退陣を要求するソウルでの抗議集会は1987年の民主化以降、最大規模に膨らみ、朴氏は今月6日、18年2月の任期満了を待たずに与党セヌリ党が求めて

いた来年4月末の退陣を受け入れる意向を同党幹部に伝えた。しかし、憲法裁判所を待つ姿勢も示しており、曲折が予想される。

可決条件は国会議員の3分の2に当たる200人以上の賛成。採決は無記名だが、野党と無所属の計172人のほかセヌリ党でも非主流派を中心に賛成したとみられる。

韓国の朴槿恵大統領を巡る今後の展開

